



KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督トーク  
 シライズカフェ  
 『SHIRAI's CAFE』 Vol.5  
 レポート

2018年11月17日(土) 17:00~  
 KAAT 神奈川芸術劇場 1F アトリウム  
 芸術監督：白井晃(演出家・俳優)  
 ゲスト：阿部海太郎(作曲家)

白井晃芸術監督が、演劇や音楽のことをゲストのミュージシャンと語り合う企画。第5弾のゲストは、作曲家の阿部海太郎さんです。阿部さんは、2016年4月に白井が演出したストロンドベリ作『夢の劇-ドリームプレイ-』で、mamalilkの生駒祐子&清水恒輔、トウヤマタケオ各氏と共に作曲・編曲・演奏を担当しました。幕開けは《Moments Musicaux-Prélude》。テレビ番組「世界で一番美しい瞬間」のテーマ曲で、白井がリクエストしたそう。



阿部さんは白井と出会った『夢の劇』について、「とても哲学的な作品。知人の演劇人にこの作品に関わることを話すと、みんなに(大変だぞという顔で)『あの作品ね』と言われました」と苦笑い。「映画『ベルリン天使の歌』のもとになった物語で、天使の少女が地上に降りて、人間と共に生活し、人間ってなんて苦しそうな、と帰っていく。その中に劇場のシーンがあって、そのシーンに海太郎さんに《劇場の夢》を作曲していただきました。踊り子はバレエのレッスン、役者は発声練習をし、スタッフはトンカチを叩きながら怒られている、そんな風景を音楽にしてください、と(白井)。軽快なテンポからワルツに移るメロディが無限の可能性を持つ劇場という空間をイメージさせます。白井は「僕も出演していたのですが、いつも聞き入ってしまい、舞台に出るタイミングを間違えそうになっていたんです」と明かします。



阿部さんがスタッフとして初めて関わった演劇作品は、故・蜷川幸雄演出、マイケル・ナイマン音楽の『エレンディア』の音楽助手としてでした。フランス留学を終えこれからを模索していた時期で、二人の巨匠に挟まれてのやりとりは、大いに刺激になったとか。それから蜷川作品の舞台音楽を数多く手がけることになったというお話をしながら、阿部さんにとって最初の蜷川作品『リア王』の楽曲を奏で始めると、白井がリアのせりふを語り始め、リアの狂気や怒りの奥に秘められた悲しみが音楽に乗せて静かに広がっていき

ます。「二進も三進もいかず悩む時間もありませんでしたが、強いシーンのために強いメロディや音が必ずしも必要ではなく、音楽を立体的に捉えることに気づかせていただいた」と阿部さん。この作品の後、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック、小川絵梨子、小野寺修二など数々の舞台を手がける演劇界には欠かせない作曲家に。そして阿部さんの話は、“記憶”をキーワードに作曲家としての思いへと移ります。



「“聴く＝listen”は積極的に聴く、“聞く＝hear”は聞こえてくる。つまり音楽は“listen”ですけど、僕は“hear”にすごく興味があるんです。耳は不思議で、四六時中音が聞こえているはずなのに意識によって聞こえたり聞こえなかったりする。意識に入ってくる音とはどういうものなのか。音楽を想像すると実際に鳴ってなくても頭の中では聞こえますよね。そこで聞こえている音は何なのだろうと。そうした音の在りようについて、常に考えてしまうんです」。

白井はそんな阿部さんの音楽を、ドビュッシーやサティなどフランスの音楽家の影響を感じると言います。そんなお話から、白井が自ら考えた詞で歌う恒例のコーナーへ！事前に阿部さんから提案されたのはやはりフランスの作曲家フランシス・プーランクの《愛の小径》でした。



「すごく美しい曲なんです。これにつける詞を考えたときに、江波杏子さんのことが思い出されたんです。KAATでは『Lost Memory Theatre』(2014)という作品に出演していただきました。演劇がお好きで、すごくかわいがっていただきました。そんな江波さんが急に亡くなられて、寂しくて仕方がない。“女優という仕事は孤独なのよ”と語られた言葉が耳に残っていて、追悼の意味をこめて描かせていただきました」(白井)

盛りだくさんの内容で進んだ「SHIRAI's CAFÉ Vol.5」は、最後は『夢の劇』で演奏された《ODA AL VERANO》で幕を閉じました。

1

あなたが歩んだ 愛の小径は  
いつも 銀色の光で 溢れていた

母の愛 受け さずかりし その美貌は  
人々を ときめかせた

ああ 美しい 愛の小径  
花 咲きて 人 集い あこがれ 満ち

あなたは 行く ためらいなく  
全ての愛に 見守られて

2

孤独という名の いばらの小径は  
避けては通ることのない 深い森に

今は戻らぬ 美しき日々たちよ  
空しく 呼び声は 消え

はるか遠く 愛の小径  
空 かげり 風吹きて 花 散るとも

あなたは 行く ためらいなく  
この愛 とわに 胸に抱き